

会 議 名	平成26年第4回愛荘町観光振興計画策定委員会 会議結果（概要）
開 催 日 時	平成26年11月26日（水）19:00～21:15
開 催 場 所	秦荘庁舎 2階 大会議室
出 席 者	（委員長）谷口浩志 （副委員長）村西和雄 （識見者）田淵正人 （観光関係者）竹中仁美、岡部正治、西澤一弘、野村仁美、 小林正行、丸橋嘉雄 （推薦） 藤居鐵也、川井健司、関 りん、宇山弘子 （行政関係者） 林定信、北川元洋 以上委員15名
欠 席 者	（行政関係者）青木清司 以上委員1名
事 務 局	商工観光課長 廣瀬猛、課長補佐 西川傳和、理事員 細江新市
傍 聴 者	0人
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・前回のワークショップのまとめおよび感想について ・愛荘町の観光に関する課題について ・その課題、問題点を解決していくためには、どのような方針や方策等をとっていけばいいか
審 議 内 容	別紙のとおり
問 い 合 わ せ 先	商工観光課 担当 西川 連絡先 TEL0749-37-8057

【別紙】

1. 前回のワークショップのまとめと各委員の感想について

- ・ワークショップのテーマ
 - ①観光振興として活かしていけるもの
 - ②対象層とツアープラン
- ・意識をしていなかったものや、表に出ていなかったものなど、ワークショップでいろいろ気付かされた。

2. 愛荘町の観光に関する課題について。また、それらの課題・問題点をなくしていく、或いは解決していくためには、どのような方針・方策等をとっていけばいいか。

- ・どうやって来てもらうかということがとても大事
- ・1回行ってしまったら何度も何度も通うという所ではないように思うのですが、素材の中に素材であるにも関わらず、素材に触れた人がその人なりの感覚で何かしら得るものがある。それがリピーターとしてもう一度そこへ行ってみたいというところにつながるきっかけになるということも、かなりたくさんあるのではないかなと思います。ところが普段はそれが見えていないのです。
- ・「核」となるべきものはあるのだけれども、それが活かされていないというのが一つ。
- ・それから、それをアピールする仕方がよくわかっていない。それからそれに対して発信が十分できていない。そしてアピールする核を広めていくべき人が足りない。
- ・トイレが不潔だっただけで、「もうあそこには行きたくない。」というのはよく聞く話
- ・そこで出会った人達との思い出とか人当たりの良さ悪さだけで、たぶんその地域の評価が、下されるのであろうと思う
- ・観光事業に直接関わっていない人たちが、どれだけ自分たちの町を皆さんにどんな風に知ってほしいと思っておられるのかというあたりがとても重要になってくる
- ・住民が観光について一生懸命考えている、あるいはそういうことが自分たちの誇りになるような形になっていくのが、一番いいのではないかな
- ・何を魅力として提示できるのかという提示する側の立場と、それを受け入れる側といえますか、それを求めてくださるお客さん側との見方の違いというものも当然あると思う。
- ・ニーズとして提供する側がきちんと把握できるかということが非常に大事。その提示の仕方で行くつか選択肢があるのではないかな。
- ・情報提供の件については、生の情報、生きた情報というものはやはり人を通して伝わることも多いですし、たまには生身の人との話もできるようなそんな場所も必要。
- ・愛荘町の観光に関する情報をどこかで一元化しておかないと。
- ・愛荘町に住んでいる人達が少しでも安心して暮らせる、あるいは豊かに暮らせる状況を作り出すということが、町づくりの本来の役割だろう。その中に観光という一つの手段というものが含まれているのだろうと考えています。
- ・観光というのは、お金もちろん大事なのですが、基本的にはそこに住んでいる人達に誇りを持ってもらえるような状態にすることが一番豊かに暮らせるための必要条件なのです。そのためには当然経済的なメリットもなければなりませんけれども、

それだけが目的ではないのです。

- ・本物だからこそつながりができていく、ネットワークができていくということも確か。
- ・一般の人が参加できるような、そういった観光というものも当然あるだろうと思います。それから子供の問題というのは、実は町づくりの根幹にあるものなので、それと観光を活かして地域の人、外から入ってきた地域の人達にも地元の良さを知ってもらおうということにつながっていくと、そういう交流が生まれてくると、それは観光の二次的な効果です。
- ・町民の皆さんの中に観光というものを根付かせていきたい。
- ・語り部の大切さというのは、「あの人に会いに行きたい。」という動機の観光旅行というのが今多くなってきています。
- ・どれだけ多くの愛荘町の町民の皆さんが観光あるいは自分達の町に興味を持ってもらえるか。これは観光課だけの課題ではなくて愛荘町全体に問いかけてられている課題なのかもしれません。
- ・これからの観光客の皆さんに何が魅力的なのかということを丁寧に掘り起こしていく必要があるのではないかと。

4. 事務局より

- ・委員の意見を整理して、愛荘町観光振興計画（素案）を作成し、その素案に対して次回策定委員会で意見をいただく。そのため、12月の開催はせず1月に開催したい。素案は、第5回開催通知とともに送付する。

5. 次回、開催日について

- ・第5回の開催は、平成27年1月28日（水）19:00～21:00に決定。

以上